



マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全の
ために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して
ください。



AWP-ZP5

目次

この取扱説明書の使いかた	3
再生できるディスクについて	3

接続と準備

準備 1：本機をつなぐ	6
準備 2：時計を合わせる	10

CD/MP3 再生

ディスクを入れる	11
ディスクを再生する	11
(ノーマル/シャッフル)	
くり返し再生する	13
(リピート)	
好きな順に再生する	13
(プログラム)	

ラジオ

ラジオ局を記憶させる	15
ラジオを聞く	17

音の調整

好みの音にする	19
パソコンの音をミキシングする	20
(PC ミキシング)	

タイマー

音楽を聞きながら眠る	20
(スリープタイマー)	
目覚ましとして使う	21
(再生タイマー)	

表示

表示窓の表示を消す	23
(節電モード)	
表示窓を使って残り時間や名前を見る	23

パソコンにつないで使う

本機とパソコンをつなぐ	25
ドライバをインストールする	26
つないだパソコンの音を聞く	29
別売りの USB 機器をつなぐ	30

別売りの機器を使う

別売り機器をつなぐ	31
別売り機器の音を本機のスピーカーで 聞く	32
市販の外部アンテナをつなぐ	33

故障かな？と思ったら

症状と原因	34
メッセージ一覧	40

その他

使用上のご注意	41
保証書とアフターサービス	42
主な仕様	43
各部のなまえ	44
索引	47

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞かせください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。

窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

- IBMとPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- MicrosoftとWindows、Windows NTは、米国Microsoft corporation registeredその他の国における登録商標です。
- Macintoshは米国Apple Computerその他の国における登録商標です。
- その他、製品名、システム名は、一般の開発メーカーの商標または登録商標です。
- 本文中では™、®マークは明記していません。






この取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の同じ、または類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

再生できるディスクの一覧

ディスクの種類	ディスクに付いているマーク（ロゴ）
音楽用CD	
CD-R/CD-RW (音楽データ、MP3ファイル)	   

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生できません。

- CD-ROM (拡張子「.MP3」が付いたファイルを除く)
- CD-R/CD-RW
ただし、以下のフォーマットで記録したCD-R/CD-RWは再生できます。
ー音楽用CDフォーマット
ーISO9660¹⁾レベル1/レベル2/Joliet/Romeo/マルチセッション²⁾準拠のMP3ファイル
- 円形以外の特殊な形状 (カード型、ハート型など) をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク
- 市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク
- 8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク

¹⁾ ISO9660フォーマット

国際標準化機構 (ISO) が制定したCD-ROMの論理フォーマット。

数段階の交換レベルが設けられています。

Level1では、ファイル名が8.3形式 (ファイル名は最大8文字、「.MP3」の拡張子は最大3文字まで) で、すべて大文字を使うという制約があります。また、フォルダ名も最大8文字まで、フォルダの階層は8までという制約もあります。Level2ではファイル名、フォルダ名の長さの制約が31文字にまで緩和されています。JolietやRomeoではファイル名、フォルダ名の長さの制約が更に緩和されています。

²⁾ マルチセッション

1枚のCDに複数のセッションを記録することができる記録方式。

従来のCDが「リードイン～データ～リードアウト」で構成されるセッションを1つしか持たないのに対し、マルチセッションCDは、複数のセッションを持っています。

CD-EXTRA: 第1セッションに音声データを、第2セッションにコンピュータ用のデータを収録します。

CD-R/CD-RWについてのご注意

- 本機はお客様が編集したCD-R/CD-RWディスクに再生対応しています。ただし、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理 (通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理) をしていないCD-RおよびCD-RWディスクは再生できません。
- 拡張子「.MP3」が付いていないIMP3形式のファイルは、再生できないことがあります。
- MP3形式以外のファイルに拡張子「.MP3」が付いていると、そのファイルを再生してしまうため、雑音や故障の原因となります。
- MP3音声アルバムに記録されていないときはスキップします。
- アルバムの最大数は150です (本機で再生できるMP3トラックとアルバムの最大数は300です)。
- ISO9660レベル1またはレベル2以外のフォーマットで記録されたディスクは、フォルダ/ファイル名が正しく表示されないことがあります。
- 次のディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。
ー多くの階層や複雑な構成で記録されたディスク
ーマルチセッションで記録されたディスク

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

マルチセッションについて

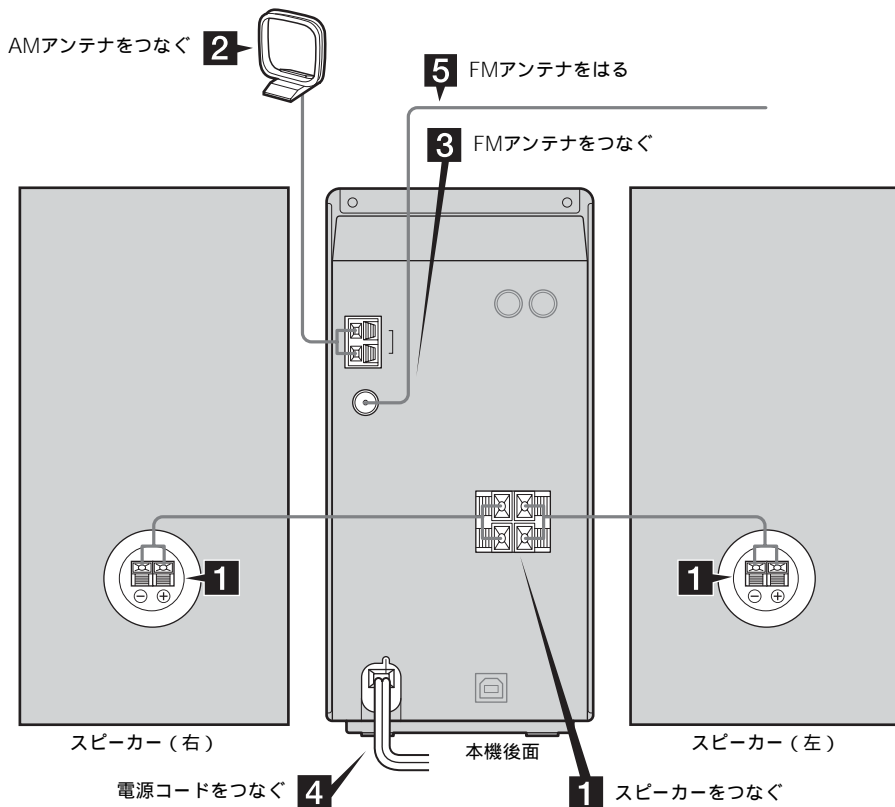
- 本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できます。
記録方式について詳しくは、CD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- MP3音声がディスクの最初のセッションに記録されているときは、音楽用フォーマットが記録されているセッションまで再生を続けます。
- 音楽用フォーマットで記録したディスクの音声が最初のセッションに記録されているときは、MP3音声が記録されているセッションまで再生を続けます。

準備1：本機をつなぐ

付属のアンテナやコードを**1**～**5**の順につなぎます。

付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をおすすめします。

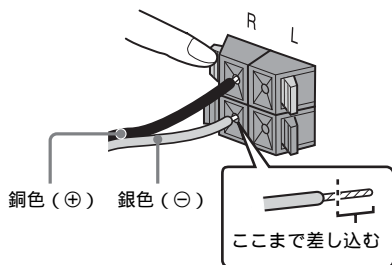
外部アンテナを含め、別売り機器の接続については、31ページをご覧ください。



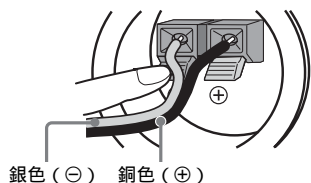
1 スピーカーをつなぐ

本機のスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぐ。

本機

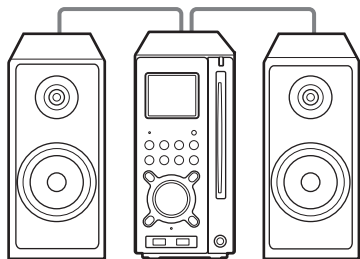


スピーカー



ご注意

- スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ局受信時の雑音の原因になります。
- R端子につないだスピーカーを向かって右へ、L端子につないだスピーカーを左へ置いてください。




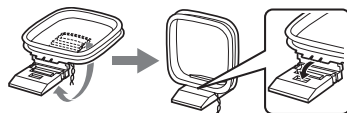
2 AMアンテナをつなぐ



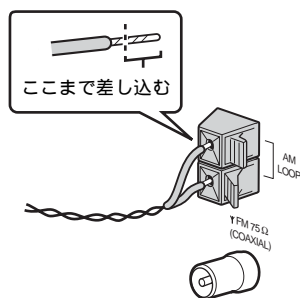
アンテナ

AMの電波を受信しやすい形状、長さになっています。はずしたり、丸めたりしないでください。

- 1 ループ () になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。
- 2 スタンド状に組み立てる。
台を起こし、溝にはめます



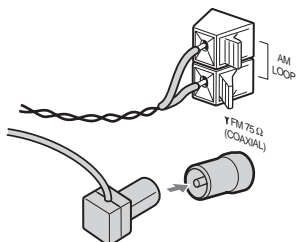
- 3 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



- 4 アンテナコードを軽く引いてみて、しっかり接続されたことを確認する。

3 FMアンテナをつなぐ

- 1 FMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



- 2 アンテナコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

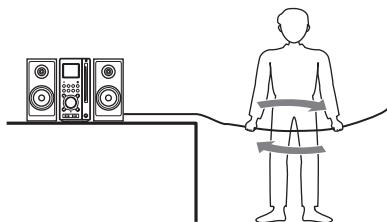
4 電源コードをつなぐ

すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。表示窓にデモ表示が現れます。デモ表示を消すには、I/⏻（電源）を押して電源を入れます。

5 FMアンテナをはる

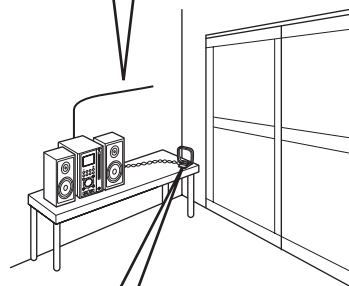
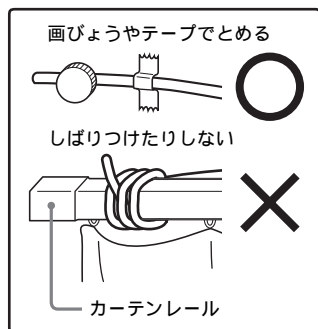
「手動受信してプリセットする」(16ページ)の手順3でFM局を選んで受信した後、次のようにアンテナを壁や天井にはってください。

- 1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。



壁にはるときは、受信状態のよい壁面を探してください。

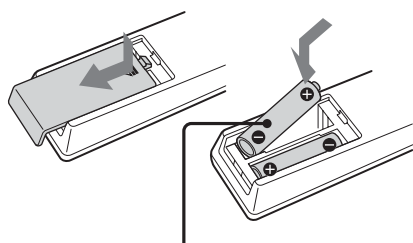
- 2 方向が決まったら、画びょうやテープではりつける。



AMアンテナは、できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や、向きを変えて受信しやすい状態を探します。

リモコンに電池を入れる

必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。



単3形乾電池

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - － ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - － 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - － 乾電池は充電しないでください。
 - － 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
 - － 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 **R** に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

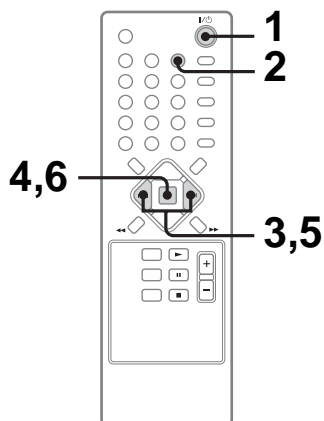
本機を輸送するときは

故障をさけるため、以下の操作を行ってから本機を移動させてください。また、修理の際も、以下の操作を行ってからご依頼ください。

- 1 本機からディスクを取り出す。
- 2 CDを押して（またはFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをCDに切り換える。
- 3 表示窓に「STANDBY」が表示されるまで、本体の▲と▶▶▶▶Iを長く押す。「STANDBY」が消えた後、「LOCK」が表示されます。
- 4 電源コードをコンセントから抜く。

準備2：時計を合わせる

タイマー録音などのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。



設定した時刻を変更する

- 1 電源を入れる
- 2 CLOCK/TIMER SETを押す
- 3 ◀◀または▶▶をくり返し押して「CLOCK SET?」を表示させ、ENTERを押す
- 4 「時計を合わせる」の手順3～6を行う

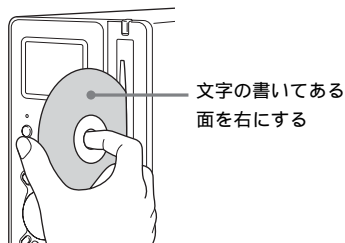
- 1 電源を入れる
- 2 CLOCK/TIMER SETを押す
時計が表示され、「時」と「AM」が点滅します。
- 3 ◀◀または▶▶を押して、「時」を合わせる
正午は12:00PM、真夜中は12:00AMです。
- 4 ENTERを押す
「分」が点滅します。
- 5 ◀◀または▶▶を押して、「分」を合わせる
- 6 ENTERを押す
時計が動き始めます。

ディスクを入れる

1 電源を入れる

2 印刷面を右にしてディスクを入れる

自動的にディスクが引き込まれるまでディスクを押し込んでください。

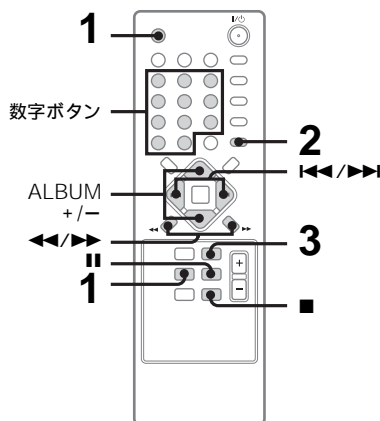


ご注意

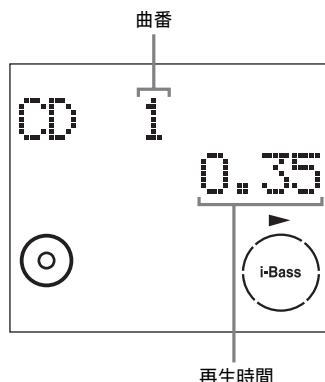
- 本機の電源を入れた後、表示窓に「CD No Disc」が表示されるまでディスクは引き込まれません。「CD No Disc」が表示されるまでは、ディスクを無理に押し込まないでください。
- 排出されたディスクをもう一度入れるときは、ディスクを完全に引き抜いた後、再び入れてください。
- ディスクがディスクスロットに半分入った状態のまま、電源を切らないでください。
- 中古ディスク/レンタルディスクで、シールなどのりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクは使わないでください。ディスクが取り出せなくなったり、本機の故障の原因になることがあります。
- ディスクを取り出すときは、ディスクのふちを持ってください。ディスクの表面には触れないでください。
- 本機で再生できないディスクは、自動的に排出されます。

ディスクを再生する

(ノーマル/シャッフル)



ディスクを入れたときの表示例



- 1 CDを押して(またはFUNCTIONをくり返し押して) ファンクションをCDに切り換える

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押し、好きな再生モードを選ぶ

こんなときは	表示 (再生モード)
ディスク通りの曲順で再生する	表示なし (ノーマル)
MP3のアルバム内に限って再生する	ALBM (アルバム) MP3以外のディスクではノーマル再生になります。
曲順を変えて再生する	SHUF (シャッフル)
MP3のアルバム内で曲順を変えて再生する	ALBM SHUF (アルバムシャッフル) MP3以外のディスクではシャッフル再生になります。
好きな曲順に再生する	PGM (プログラム) 「好きな順に再生する」(13ページ)をご覧ください。

3 ► (または本体のCD►) を押す

ご注意

- 再生中にPLAY MODEを押しても、再生モードは変えられません。
- 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクは再生開始までに時間がかかることがあります。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■を押す。
一時停止する	IIを押す。もう一度押すと、再生を再開します。
トラックを選ぶ	I◀または▶Iをくり返し押す。
MP3のアルバムを選ぶ	手順2の後、ALBUM + または - をくり返し押す。
再生したい部分を探す (サーチ)	再生中に◀◀または▶▶を押し続け、聞きたいところで指を離す。
ディスクを取り出す	本体の▲を押す。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

再生モードがノーマルまたはアルバムのとき、曲番の数字を押すと自動的に再生が始まります。

10以降の曲番を選ぶには、>10を押してから曲番の数字ボタンを押します。0を選ぶときは10/0を押します。

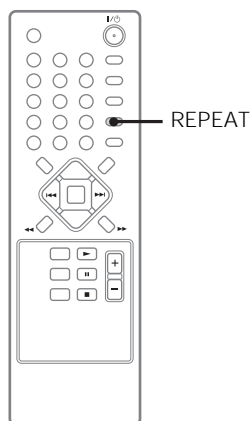
ちょっと一言

他の音源 (ラジオなど) を聞いていても、CD (または本体のCD►) を押すとファンクションがCDへ切り換わります (オートファンクション)。

くり返し再生する

(リピート)

1曲または全曲をくり返し演奏します。



再生中にREPEATをくり返し押して「REP」または「REP1」を表示させる

REP： 再生中のディスク全体をくり返します（5回まで）。

REP1： 再生中の1曲だけをくり返します。

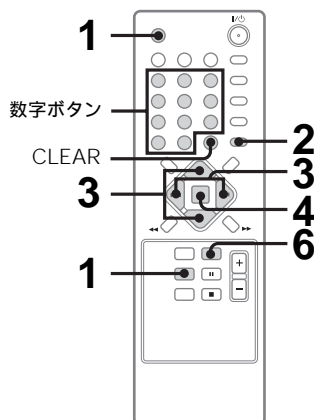
リピート再生をやめるには

REPEATをくり返し押して、「REP」または「REP1」を消します。

好きな順に再生する

(プログラム)

最大25個のトラック（曲）を選んでプログラムできます。

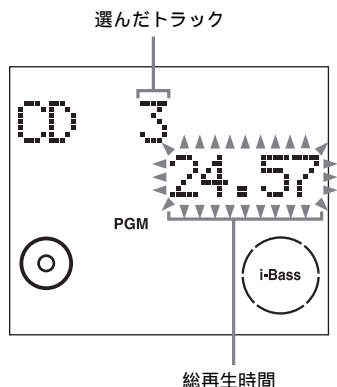


1 CDを押して（またはFUNCTIONをくり返し押して）ファンクションをCDに切り換える

2 停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」を表示させる

3 ◀◀または▶▶をくり返し押して、プログラムしたいトラックを選ぶ

MP3をプログラムするときはALBUM + または - をくり返し押してアルバムを選んだ後、◀◀または▶▶をくり返し押してトラックを選びます。



4 ENTERを押す

トラックが選んだ順にプログラムされます。

何トラック目にプログラムされたか (Step数) が表示された後、最後にプログラムしたトラック番号が表示されます。

5 手順3、4をくり返す

6 ▶ (または本体のCD▶) を押す

プログラムした順に再生が始まります。

その他の操作

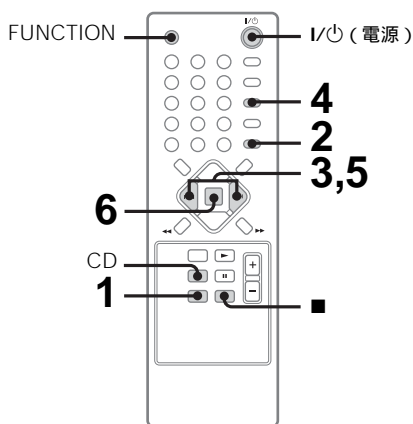
こんなときは	操作
ノーマル再生に戻る (ノーマル)	停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「PGM」を消す。
プログラムした順番を確認する	プログラム再生中に◀◀または▶▶を押す。
プログラムの最後に曲を追加する	停止中に手順1～4を行う。
プログラムを消す	停止中にCLEARを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。▶ (または本体のCD▶) を押すと、同じプログラムを再生できます。ただし、本体の▲を押してディスクを取り出すとプログラムは消えます。
- 次の場合、総再生時間が「- - - -」と表示されます。
 - 総再生時間が100分を超えたとき
 - 21曲目以降のトラックを選んだとき
 - MP3トラックを選んだとき
- 数字ボタンを使ってプログラムしたいトラックを選ぶこともできます。手順3でプログラムしたいトラックの数字ボタンを押します。選ばれたトラックは自動的にプログラムされます。

ラジオ局を記憶させる

FM放送を20局、AM放送を10局まで記憶（プリセット）させることができます。聞くときは、プリセット番号を選ぶだけで選局できます。



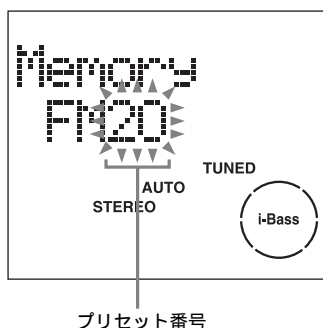
自動受信してプリセットする

地域で受信できるラジオ局を自動的に選び、記憶させることができます。

- 1 TUNER BANDをくり返し押しして、「AM」か「FM」を選ぶ
- 2 TUNING MODEをくり返し押しして、「AUTO」を表示させる

- 3 TUNING + または - を押す
周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、「TUNED」と「STEREO」(FMステレオ放送のときのみ)が表示されます。「TUNED」が出ずに止まらないときは「手動受信してプリセットする」(16ページ)の手順2、3で聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

- 4 TUNER MEMORYを押す
プリセット番号（記憶させる番号）が点滅します。点滅している間に手順5、6を行ってください。



- 5 ◀◀または▶▶をくり返し押しして、記憶させたい番号（プリセット番号）を選ぶ
FMは1～20、AMは1～10から選びます。

- 6 ENTERを押す

- 7 手順1～6をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

ちょっと一言
自動受信を途中でやめたいときは、■を押します。

手動受信してプリセットする

周波数をあわせて、好きなラジオ局を記憶させることができます。

- 1 TUNER BANDをくり返し押しして、「AM」か「FM」を選ぶ
- 2 TUNING MODEをくり返し押しして、「AUTO」や「PRESET」を消す
- 3 TUNING + または - を押しして、受信したいラジオ局の周波数に合わせる
- 4 TUNER MEMORYを押す
プリセット番号（記憶させる番号）が点滅します。点滅している間に手順5、6を行ってください。
- 5 ◀◀または▶▶をくり返し押しして、記憶させたい番号（プリセット番号）を選ぶ
FMは1～20、AMは1～10から選びます。
- 6 ENTERを押す
- 7 手順1～6をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

その他の操作

こんなときは	操作
電波の弱いラジオ局を受信する	「手動受信してプリセットする」の手順で受信する。
プリセットした番号に別のラジオ局を記憶させる	手順1からやり直す。 手順4の後で◀◀または▶▶をくり返し押しして、別のラジオ局を記憶させたいプリセット番号を選びます。

ちょっと一言

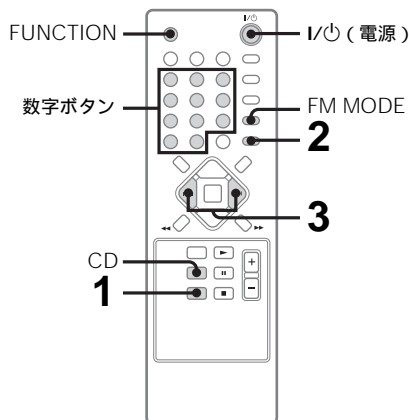
- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約一日保持されます。
- 受信状態が悪いときは、以下の操作を行ってください。
 - 1 CDを押して（またはFUNCTIONをくり返し押しして）、ファンクションをCDに切り換える。
 - 2 I/⏻（電源）を押し、電源を切る。
 - 3 「STANDBY」の点滅が止まった後、本体の■を長押ししながら、本体のI/⏻（電源）を押す。
（「CD POWER OFF」と表示されます。）また、受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（33ページ）。
- FM放送でテレビの音（1～3チャンネル）をプリセットすることもできます。放送局をFMにして、プリセットしたいテレビチャンネルの周波数に合わせます。ステレオ放送はモノラル音声、2カ国語放送は主音声を受信します。

チャンネル	周波数 (MHz)
1チャンネル	95.75
2チャンネル	101.75
3チャンネル	107.75

ラジオを聞く

好きなラジオ局をあらかじめ本機に記憶させて聞けます（プリセット受信）。

また、周波数を合わせて記憶させていないラジオ局を聞くこともできます（マニュアル受信）。



記憶させたラジオ局を聞く （プリセット受信）

あらかじめ本機にラジオ局を記憶させておきます（15ページ）。

- 1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ
- 2 TUNING MODEをくり返し押して、「PRESET」を表示させる
- 3 ◀◀または▶▶をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ

数字ボタンを使ってプリセット番号を選ぶ手順2で、聞きたいラジオ局のプリセット番号を押す。

10以降のプリセット番号を選ぶには、>10を押してからプリセット番号の数字ボタンを押します。0を選ぶときは10/0を押します。

周波数を合わせてラジオを聞く （マニュアル受信）

- 1 TUNER BANDをくり返し押して、「AM」か「FM」を選ぶ
- 2 TUNING MODEをくり返し押して、「AUTO」や「PRESET」を消す
- 3 TUNING + または - をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる

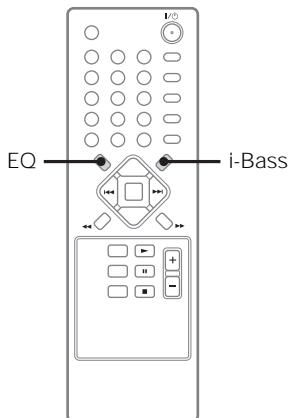
ちょっと一言

- 受信状態が悪いときは、以下の操作を行ってください。
 - 1 CDを押して（またはFUNCTIONをくり返し押して）、ファンクションをCDに切り換える。
 - 2 I/⏻（電源）を押し、電源を切る。
 - 3 「STANDBY」の点滅が止まった後、本体の■を長押ししながら、本体のI/⏻（電源）を押す。
（「CD POWER OFF」と表示されます。）また、受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、はる位置を変えてみてください。それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします（33ページ）。
- パソコンを使用中にラジオを聞くときは、市販の外部アンテナの使用をおすすめします。
- FMステレオ放送受信中、雑音が多いときはFM MODEをくり返し押して「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。
- 「周波数を合わせてラジオを聞く」の手順2で「AUTO」を表示させ、TUNING +または-を押すと、周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります（自動受信）。
- FM放送でテレビの音（1～3チャンネル）を聞くことができます。各チャンネルの周波数は、16ページをご覧ください。

音の調整

好みの音にする

低音を強調したり、好みのサウンド効果が楽しめます。



低音を強調する

i-Bassを押す

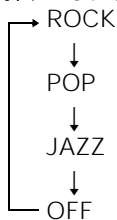
押すたびに次のように変わります。

i-Bass ON ↔ i-Bass OFF

サウンド効果を楽しむ

EQをくり返し押して、サウンド効果を選ぶ

押すたびに次のように変わります。



サウンド効果を消す

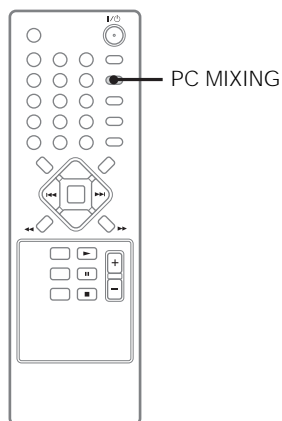
EQをくり返し押して、「OFF」を表示させる。

パソコンの音をミキシングする

(PCミキシング)

パソコンの音を他の音源の音と合わせて聞かことができます。

パソコンの接続については、「パソコンにつないで使う」(25ページ)をご覧ください。



PC MIXINGを押す

押すたびに次のようになります。

MIXING ON* ↔ MIXING OFF

* PCミキシングが働いているときは、MIXINGインジケーターが点灯します。

ご注意

- ファンクションがPCのときは動作しません。
- 次の場合、PCミキシングは解除されます。
 - ファンクションが他のファンクションへ移ったとき
 - 本機の電源を入/切したとき

ちょっと一言

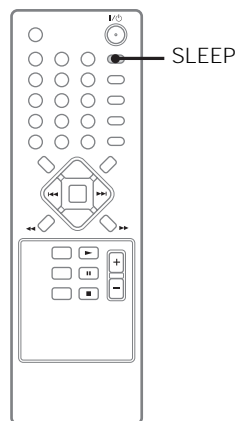
ミキシングレベルを変えたいときは、パソコンの音量を調整します。

タイマー

音楽を聞きながら眠る

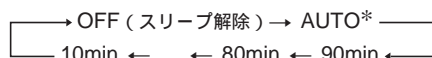
(スリープタイマー)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。



SLEEPを押す

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。



* 100分たつと電源が切れます。また、再生中のCDが終了すると、自動的に電源が切れます。

その他の操作

こんなときは	操作
残り時間を確認する*	SLEEPを1回押す。
途中で時間を変える	SLEEPを押して、時間を選び直す。
スリープタイマーを解除する	SLEEPをくり返し押して、「OFF」を表示させる。

* AUTOに設定しているときは確認できません。

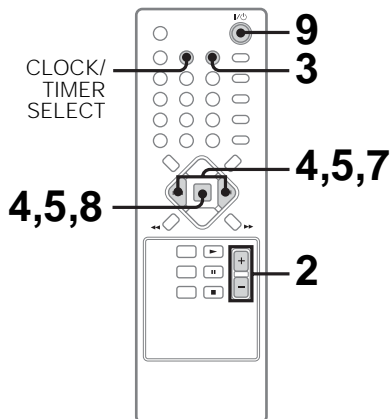
ちょっと一言

スリープタイマーは、時計合わせをしていなくても使用できます。

目覚ましとして使う

(再生タイマー)

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。操作の前に、時計を合わせておきます(10ページ)。



1 CDなどの音源を準備する

- CD : ディスクを入れる。好きな曲から再生したいときはプログラムする(13ページ)。
- ラジオ : プリセット受信する(17ページ)。

2 VOLUME + または - を押して (または本体のVOLUMEつまみを回して) 音量を調節する

3 CLOCK/TIMER SETを押す

4 ◀◀または▶▶をくり返し押して、「TIMER SET?」を表示させ、ENTERを押す

「ON TIME」が点灯し、「時」が点滅します。

5 開始時刻を合わせる

◀◀または▶▶をくり返し押して「時」を合わせ、ENTERを押す。

「分」が点滅します。

◀◀または▶▶をくり返し押して「分」を合わせ、ENTERを押す。

再び「時」が点滅します。

6 終了時刻を合わせる

手順5と同じ操作をして「時」「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7 ◀◀または▶▶をくり返し押して、音源を選ぶ

押すたびに、次のように変わります。

TUNER ↔ CD PLAY

8 ENTERを押す

「PLAY TIMER」、開始時刻、終了時刻、音源が順に表示され、元の表示に戻ります。

9 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

設定を確認する/タイマーを働かせる

1 CLOCK/TIMER SELECTを押す。

2 ◀◀または▶▶を押して、「SELECT
TIMER ON?」を表示させ、ENTERを押す。

タイマーを解除する

1 CLOCK/TIMER SELECTを押す。

2 ◀◀または▶▶をくり返し押して、「SELECT
TIMER OFF?」を表示させ、ENTERを押す。

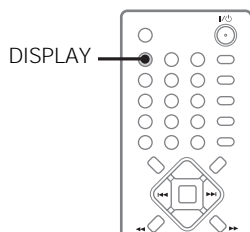
ご注意

- スリープタイマーを同時に使用した場合は、スリープタイマーの設定が優先されます。
- 電源は開始時刻の約15秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- 開始時刻の約15秒前にすでに電源が入っていると再生タイマーは動きません。
- MD入力端子およびUSBポートにつないだ機器は再生タイマーの音源としては使用できません。

表示窓の表示を消す

(節電モード)

表示窓の時計表示を消して、電源を切った状態での消費電力を最低限におさえることができます(節電モード)。

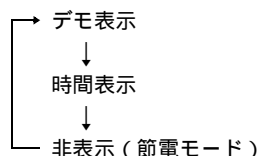


電源を切った状態でDISPLAYをくり返し押し、デモ表示または時計表示を消す

節電モードに切り換わります。

節電モードを解除する

電源を切った状態で、DISPLAYをくり返し押す。押すたびに表示窓が次のように切り換わります。

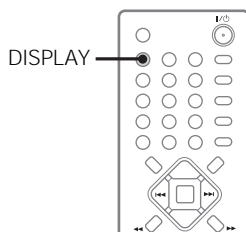


ちょっと一言

節電モード時も、タイマーは働きます。

表示窓を使って残り時間や名前を見る

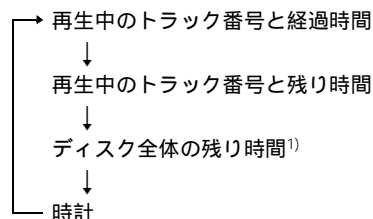
ディスク全体または1つのトラック(曲)の残り時間を見たり、MP3のトラック名やアルバム名を見たりできます。



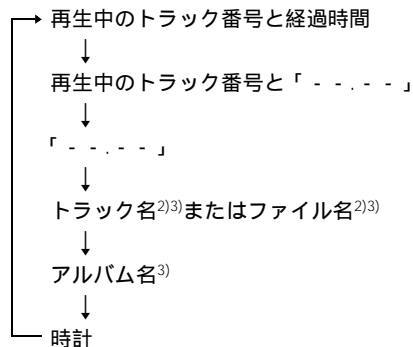
ディスクの残り時間や名前を見る

再生中にDISPLAYを押す
押すたびに次のように変わります。

CD再生中



MP3再生中

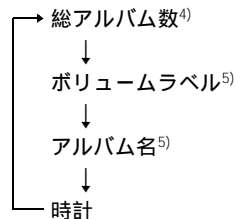


- 1) プログラム再生中は「- - - -」が表示されません。
- 2) 再生中のMP3ファイルにID3タグが記録されている場合は、トラック名が表示されます。ID3タグが記録されていない場合は、トラック名の代わりにファイル名（ASCIIコード文字のみ）が表示されます。ID3タグはバージョン1と2に対応しています。
- 3) 全角文字、半角カタカナは正しく表示されません。

ご注意

MP3のビットレートがVBR (Variable Bit Rate)の場合には、MP3の経過時間が正確に表示されないことがあります。

MP3停止中



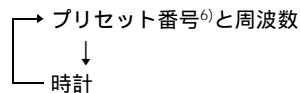
4) 「ALBM」または「ALBM SHUF」が表示されているときは、選択アルバム内の曲数が表示されます。

5) 再生モードによっては表示されないことがあります。

受信情報を見る（ラジオ）

受信中にDISPLAYを押す

押すたびに次のように変わります。



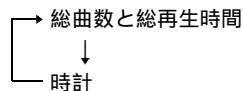
6) プリセット受信のときのみ表示されます。

ディスクの総再生時間を見る

停止中にDISPLAYを押す

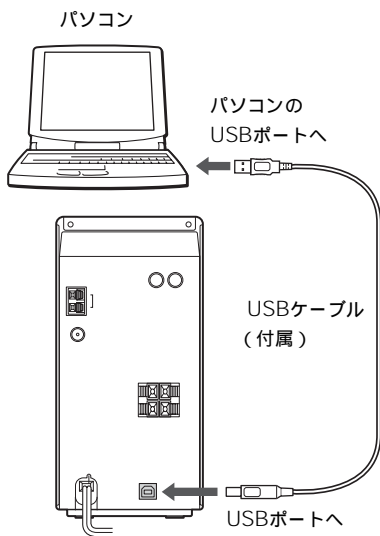
押すたびに次のように変わります。

CD停止中



本機とパソコンをつなぐ

本機をパソコンとつなぐと、パソコンのハードディスクやCD-ROMドライブで再生した曲を、本機のスピーカーで聞くことができます。パソコンに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



接続に必要なシステム環境

本機とパソコンを接続するには、以下のシステム環境が必要です。以下のシステム環境以外では動作しません。

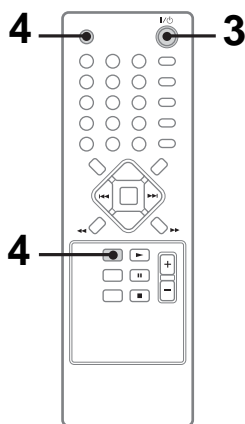
- IBM PC/AT互換機またはMacintosh
- USBポート搭載（バージョン 1.1以上）
- OS（日本語または英語システム）
 - － Windows
Windows 98 Second Edition,
Windows 2000 Professional,
Windows Millennium Edition,
Windows XP Professional/
Home Edition
 - － Macintosh
Mac OS 9.0から9.2またはX 10.1から10.3

ご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 自作PCおよびOSや、標準OSから他のOSへアップグレードしている環境での動作は保証できません。
- 本機でパソコンを操作することはできません。同様に、パソコンで本機を操作することはできません。
- USBハブやUSB延長ケーブルを使用して本機とパソコンを接続した場合の動作は保証できません。
- 接続には必ず本機に付属のUSBケーブルを使用し、本機とパソコンのUSBポートへつないでください。キーボードやディスプレイなどを經由して接続した場合は、動作しません。パソコンに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、音声出力が自動的にパソコンから本機に切り換わります。パソコンから音声を出したいときは、コントロールパネルの [マルチメディア] または [サウンドとマルチメディア] (Windows XPでは [サウンド、音声、およびオーディオデバイス]) で音量を調整してください。

ドライバをインストールする

はじめて本機とパソコンを接続するときは、USBドライバをインストールします。USBドライバはOS標準ドライバで動作します。使用するOSによってインストールの手順が異なります。パソコンに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



Windows 98 Second Edition/ Windows Millennium Edition のとき

- 1 付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンをつなぐ
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 本機の電源を入れる
- 4 PCを押して（またはFUNCTIONをくり返し押して）ファンクションをPCに切り換える
インストールが自動的に始まります。

5 パソコン画面の指示に従って操作する

例：Windows 98 Second Editionのとき



ご注意

- パソコン画面にOSのCD-ROMを要求するメッセージが表示されたときは、CD-ROMをドライブに入れてください。
- デバイスを検出している間は、USBケーブルの抜き差しを行わないでください。

デバイスの状態を見る

ドライバをインストールした後に、デバイスが正しく認識されているかを確認します。

- 1 スタート画面の [設定] で [コントロールパネル] を選ぶ。
- 2 [システム] をダブルクリックする。
[システムのプロパティ] が表示されます。

ご注意

[システム] のアイコンが見つからないときは、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックします。(Windows Meのみ)

- 3 [デバイスマネージャ] をクリックし、
[種類別に表示] が選ばれていることを確認する。
 - 4 [デバイスマネージャ] で次の項目を確認する。
 - ー [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ] に [USBオーディオデバイス] があるか
 - ー [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に [USB互換デバイス] があるか
- 例：Windows 98 Second Edition のとき



ご注意

項目が表示されない、またはアイコン上に「！」が表示されるときは、ドライバが正しくインストールされていないか、またはデバイスが認識されていません。ドライバを再インストールしてください。

- 5 [OK] をクリックする。

ご注意

- ・パソコン環境によって [デバイスマネージャ] の他の項目は異なる場合があります。
- ・デバイスが認識されないときは、USBケーブルを抜き、再び差し込んでインストールが自動的に始まるようにします。それでも認識されないときは、パソコンを再起動してください。

Windows 2000 Professional またはWindows XP Professional/Home Editionの とき

- 1 付属のUSBケーブルを使って
本機とパソコンをつなぐ
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 本機の電源を入れる
- 4 PCを押して（または
FUNCTIONをくり返し押し
て）ファンクションをPCに切
り換える
インストールが自動的に終了します。

ご注意

- ・パソコン画面にOSのCD-ROMを要求するメッセージが表示されたときは、CD-ROMをドライブに入れてください。
- ・デバイスを検出している間は、USBケーブルの抜き差しを行わないでください。

ちょっと一言

インストールが始まらないときは、パソコン画面の指示に従ってください。

デバイスの状態を見る

ドライバをインストールした後に、デバイスが正しく認識されているかを確認します。

- 1 スタート画面の [設定] で [コントロールパネル] を選ぶ。
Windows XPでは、スタート画面で [コントロールパネル] を選び、左上の [クラシック表示に切り替える] をクリックする。
- 2 [システム] をダブルクリックする。
[システムのプロパティ] が表示されます。
- 3 [ハードウェア] をクリックする。

- 4 [デバイスマネージャ] をクリックし、
[表示] で [デバイス (種類別)] が選ば
れていることを確認する。
- 5 [デバイスマネージャ] で次の項目を確認
する。
 - ー [サウンド、ビデオ、およびゲームコ
ントローラ] に [USBオーディオデバイ
ス] があるか
 - ー [USB (Universal Serial Bus) コン
トローラ] に [USB複合デバイス] があるか

例 : Windows XP Professional のとき



ご注意

- パソコン環境によって [デバイスマネージャ] の
他の項目は異なる場合があります。
- デバイスが認識されないときは、USBケーブル
を抜き、再び差し込んでインストールが自動的に始ま
るようにします。それでも認識されないときは、
パソコンを再起動してください。

Mac OS 9.0から9.2のとき

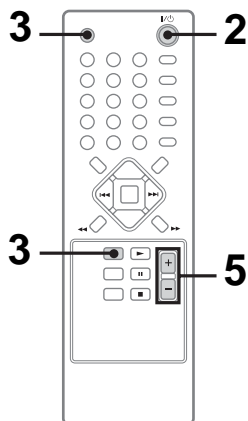
- 1 付属のUSBケーブルを使って
本機とパソコンをつなぐ
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 本機の電源を入れる
- 4 PCを押して (または
FUNCTIONをくり返し押し
て) ファンクションをPCに切
り換える

Mac OS X 10.1から10.3のとき

- 1 付属のUSBケーブルを使って
本機とパソコンをつなぐ
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 本機の電源を入れる
- 4 PCを押して (または
FUNCTIONをくり返し押し
て) ファンクションをPCに切
り換える
- 5 アップルメニュー画面で [シス
テム環境設定] を選ぶ
- 6 [ハードウェア] の [サウンド]
をクリックする
- 7 [出力] の [サウンドを出力す
る装置の選択] で [ZP Hi-Fi
Component System] または
[USB Audio DAC] を選ぶ

つないだパソコンの音を聞く

パソコンに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご注意

- 音量はパソコン側でもあわせて調節してください。パソコン側で音量を調節しても、本機の音量の設定は変わりません。
- USBケーブル（付属）をつないで音楽を再生しているときは、本機の電源を切らないでください。
- USBケーブル（付属）を抜くときは、先にソフトウェアを終了してください。
- パソコン環境によっては、音がとぎれたり雑音が入ることがあります。

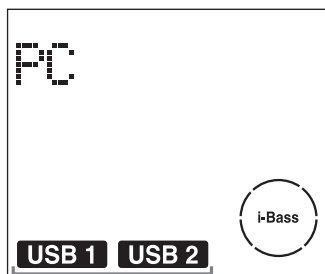
- 1 本機とパソコンをつなぐ
「本機とパソコンをつなぐ」(25ページ)をご覧ください。
- 2 本機の電源を入れる
- 3 PCを押して（またはFUNCTIONをくり返し押して）ファンクションをPCに切り換える
- 4 パソコンで再生を始める
- 5 VOLUME + または - を押して（または本体のVOLUMEつまみを回して）音量を調節する

別売りのUSB機器をつなぐ

本機はUSBハブポートをふたつ搭載しています。本機のUSBハブポートに別売りのUSB機器をつなぐと、本機を通してパソコンからUSB機器を使用することができます。1ポートにつき、最大消費電流100mA以下のUSB機器をつないでお使いいただけます。接続可能なUSB機器についての詳細は、本機に付属の「USBハブポートについてのご案内」をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンをつなぐ
本機の電源が入っているときは、USBインジケーターが点灯します。



USBインジケーター

3 本機のUSBハブポートに別売りのUSB機器をつなぐ

USBインジケーターが消灯したときは接続したUSB機器の最大消費電流が100mAを超えているため、使用できません。本体のUSB STATUSランプが点灯します。以下の操作を行ってください。

- 1 USB機器を本機のUSBハブポートから抜く。
- 2 パソコン画面にメッセージが表示されたときは、その指示に従う。
パソコン画面に何も表示されないときは、パソコンからUSBケーブルを抜き、接続し直す。
それでも本体のUSB STATUSランプが消灯しないときは、パソコンを再起動してください。

ご注意

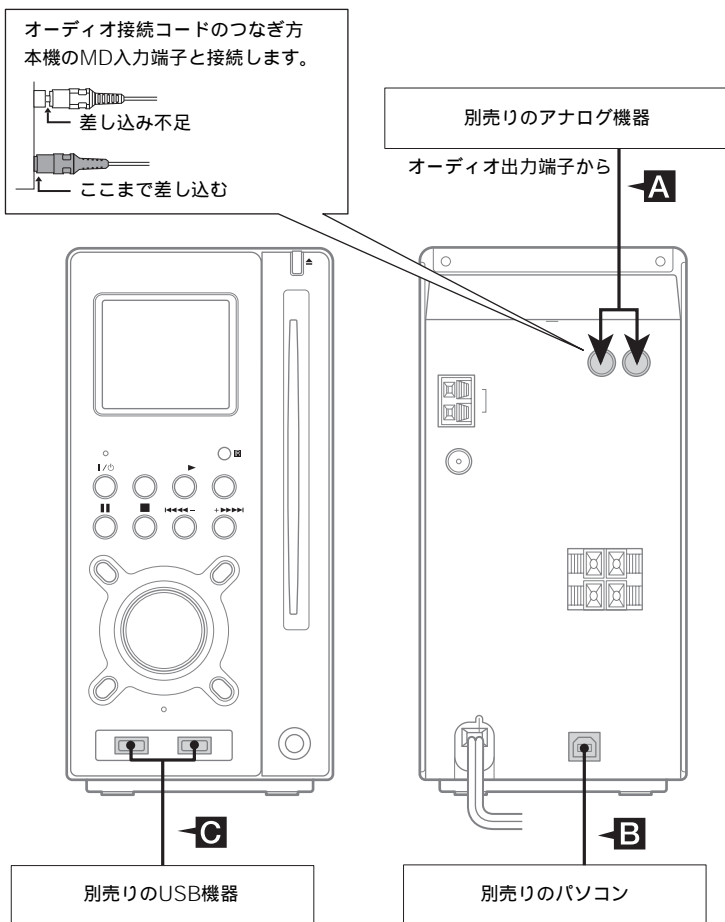
- 最大消費電流100mA以上のUSB機器は接続できません。
- 本機のUSBハブポートにHi-Speed USB機器を接続する場合、パソコンに直接接続するよりも転送速度が遅くなります。
- 推奨するすべてのUSB機器について動作を保証するものではありません。
- USBハブやUSB延長ケーブルを使用して本機とパソコンを接続した場合の動作は保証できません。
- 本機のUSBハブポートに、パスパワー仕様のハブ（ACアダプタのついていないタイプ）を接続しないでください。
- 接続するUSB機器にACアダプタがついている場合は、必ずACアダプタをご利用ください。

ちょっと一言

- 本機内蔵のUSBハブは、Full-Speed（最大転送速度12 Mbps）パスパワータイプ（パソコンより電源供給されるタイプ）です。
- 次の場合もUSB機器をお使いいただけます。
 - ー 本機の電源が切れた状態のとき
 - ー PC以外のファンクションが選ばれているとき

別売り機器をつなぐ

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



A MD入力端子

オーディオ接続コード（別売り）を使って、別売り機器（カセットデッキ、レコードプレーヤーなど）をつなぎます。本機でアナログ音声を聞くことができます。

B USBポート

付属のUSBケーブルを使って、パソコンをつなぎます（25ページ）。

C USBハブポート

別売りのUSB機器をつなぎます（30ページ）。

別売り機器の音を本機のスピーカーで聞く

1 オーディオ接続コードをつなぐ
「別売り機器をつなぐ」（31ページ）をご覧ください。

2 FUNCTIONをくり返し押して、「MD」を表示させる
別売り機器の再生を始めてください。

ちょっと一言

イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、MM型またはMC型に対応のカートリッジイコライザー（別売り）をつないでください。

イコライザーアンプが内蔵されているかどうかや、MM型かMC型かについては、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

市販の外部アンテナをつなぐ

付属のアンテナでうまく受信できないときに
つなぎます。

FMアンテナをつなぐ

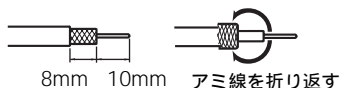
市販のFM屋外アンテナを、市販の75Ω同軸
ケーブルを使ってつなぎます。

同軸ケーブルを使うと、雑音の影響を受けに
くなります。同軸ケーブルは3C-2Vが適当
です。

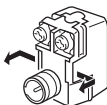
屋外アンテナの購入、取り付けについては、
本機をお買い上げいただいた販売店へご相談
ください。

同軸ケーブルのつなぎかた

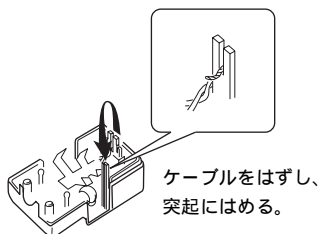
- 1 ケーブルの先端を処理する。



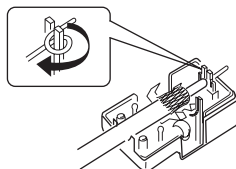
- 2 市販のアンテナコネクタのふたをはずす。



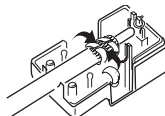
- 3 アンテナコネクタ内のケーブルをはずし、突起にはめる。



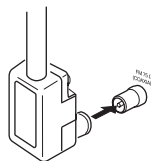
- 4 芯線を根元まで差し込んで巻きつける。



- 5 金具をペンチなどでしめつける。

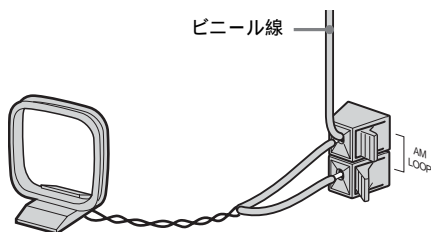


- 6 FMアンテナ端子へつなぐ。



AMアンテナをつなぐ

市販の6～15mのビニール線を、窓際や屋外
になるべく高く水平に張ります。付属のAM
ループアンテナはつないだままにしておきま
す。



症状と原因

修理に出す前に、以下の手順にしたがって点検してください。表示窓にメッセージが表示されているときは、「メッセージ一覧」(40ページ)をご覧ください。表示窓に何も表示されないときは、次の表を読んでもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにお問い合わせください。

共通

症状	原因と対応のしかた
電源プラグをコンセントに差し込むと、電源を入れていないのに表示窓が点灯する	<p>デモ表示になっている。</p> <p>→ 電源を切った状態でDISPLAYをくり返し押して、デモ表示を消す。</p>
「- - -」が表示される	<p>電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。</p> <p>→ 時計を設定し直す(10ページ)。</p>
音が出ない	<p>ボリュームが小さい。</p> <p>→ VOLUME +を押す(または本体のVOLUMEつまみを右へ回す)。</p> <p>ヘッドホン差したままになっている。</p> <p>→ ヘッドホンを抜く。</p> <p>スピーカーが正しく接続されていない。</p> <p>→ スピーカーコードを正しく接続し直す(7ページ)。</p>
音がおかしい	<p>左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。</p> <p>→ 高さ、距離をできるだけ対称にする。</p> <p>付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。</p> <p>→ 付属のスピーカーをつなぐ。</p>
ファンクションがPC以外のときにパソコンの音が聞こえる	<p>PCミキシングが「ON」に設定されている。</p> <p>→ PCミキシングを「OFF」に設定する(20ページ)。</p>
雑音が多い	<p>テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。</p> <p>→ 離れたところに設置する。</p> <p>冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。</p> <p>→ 別の電源コンセントにつなぐ。</p> <p>→ 電源ラインのノイズフィルター(市販)を使用する。</p>
タイマーが設定できない	<p>・ 時計が設定されていない。</p> <p>・ 停電などにより、時計の設定が解除された。</p> <p>→ 時計を設定し直す(10ページ)。</p>

症状	原因と対応のしかた
タイマーが働かない	<p>電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。</p> <p>→ タイマーが働くように設定する（22ページ）。</p> <p>誤った時間が設定されている。</p> <p>→ 設定内容を確認し、正しい時間を設定する（22ページ）。</p> <p>スリープタイマーが働いている。</p> <p>→ スリープタイマーを解除する（21ページ）。</p>
リモコンで操作できない	<p>リモコンと本体の間に障害物がある。</p> <p>→ 障害物を取り除く。</p> <p>リモコンと本体の距離が離れすぎている。</p> <p>→ 近寄って操作する。</p> <p>リモコンの発光部が本体の方を向いていない。</p> <p>→ リモコンを本体に向ける。</p> <p>リモコンの乾電池が消耗している。</p> <p>→ 乾電池（単3）を交換する。</p> <p>本体の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。</p> <p>→ 本体と蛍光灯を離して設置する。</p>
電源が切れない	<p>デモ表示になっている。</p> <p>→ 電源を切った状態でDISPLAYをくり返し押して、デモ表示を消す。</p>

CD/MP3

症状	原因と対応のしかた
「LOCKED」が表示される	<p>ディスクスロットが固定されている。</p> <p>→ お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。</p>
ディスクが出てこない	<p>レンタルディスクや中古ディスクなどで、シールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼りついたディスクが内部に落ちて挟まっている。</p> <p>→ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。</p> <p>ディスクを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクが内部に挟まった。</p> <p>→ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。</p>

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	<p>ディスクが入っていない。</p> <p>→ ディスクが入っているか確認する。</p> <p>ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。</p> <p>→ 汚れを拭き取る（41ページ）。</p> <p>ディスクの傷がひどい。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>本機で再生できないディスクを入れている（4ページ）。</p> <p>ディスクがずれて入っている。</p> <p>→ ディスクを正しく入れ直す。</p> <p>ディスクが裏返しに入っている。</p> <p>→ 印刷面を右にしてディスクを入れ直す。</p> <p>本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。</p> <p>→ ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。</p> <p>ディスクが再生状態になっていない。</p> <p>→ ►（または本体のCD►）を押し、再生状態にする。</p>
再生開始まで時間がかかる	<p>ファンクションがTUNERになっているときは、再生開始までに時間がかかることがあります。</p> <p>→ CD POWER ONを設定する。手順は以下の通りです。</p> <p>CDを押して（またはFUNCTIONをくり返し押して）「CD」を表示させ、I/⏻（電源）を押して電源を切る。</p> <p>「STANDBY」の点滅が止まった後、本体の■を長押ししながら、本体のI/⏻（電源）を押す。</p> <p>（「CD POWER ON」と表示されます。）</p>
音とびがする	<p>ディスクの汚れ（油膜、指のあとなど）がひどい。</p> <p>→ 汚れを拭き取る（41ページ）。</p> <p>ディスクの傷がひどい。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。</p> <p>→ ディスクを交換する。</p> <p>本機に振動が加わっている。</p> <p>→ 振動のない場所（安定した台の上など）に設置してみる。</p> <p>→ スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。</p> <p>低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。</p>
再生が1曲目から始まらない	<p>プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。</p> <p>→ 停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示窓の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。</p>

症状	原因と対応のしかた
MP3が再生しない	<p>ISO9660レベル1、レベル2、Juliet、Romeoに準拠して記録されていない。</p> <p>→ 準拠しているディスクを使用する。</p> <p>MP3ファイルに拡張子が付いていない。</p> <p>→ 記録した機器で拡張子「.MP3」を付ける。</p> <p>MP3ファイル以外に拡張子「.MP3」を付けている。</p>
MP3のアルバム/トラック名やID3タグが正しく表示されない	<p>ISO9660レベル1、レベル2、Juliet、Romeoに準拠して記録されていない。</p> <p>→ 準拠しているディスクを使用する。</p> <p>本機で表示できないバージョンのID3タグが記録されている。</p> <p>→ バージョン1と2に対応しているディスクを使用する。</p> <p>本機で表示できるID3タグは30文字までです。</p> <p>本機で表示できない文字/記号が記録されている。</p> <p>→ 本機で表示できる文字/記号は次の通りです。他の文字/記号は正しく表示されないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - アルファベット (A - Z) - 数字 (0 - 9) - 記号 (< > * + , - / [] \ _)

チューナー（ラジオ）

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る/受信できない （「TUNED」または「STEREO」 が点滅する）	<p>放送局のバンド（FM/AM） 周波数が合っていない。</p> <p>→ バンドと周波数を正しく設定する（15ページ）。</p> <p>アンテナが正しく接続されていない。</p> <p>→ 正しく接続し直す（7ページ）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 ・ 電波が弱い。 <p>→ CD POWER OFFを設定する。手順は以下の通りです。 CDを押して（またはFUNCTIONをくり返し押して）「CD」を表示させ、I/⏻（電源）を押して電源を切る。 「STANDBY」の点滅が止まった後、本体の■を長押ししながら、本体のI/⏻（電源）を押す。 （「CD POWER OFF」と表示されます。）</p> <p>→ 受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置し直す（8ページ）。</p> <p>鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属のFM簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくなる場合は、市販の外部アンテナをつなぐことをおすすめします（33ページ）。</p>

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る/受信できない (「TUNED」または「STEREO」 が点滅する)	<p>アンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。</p> <p>→ 付属のFM簡易アンテナは全体で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく(8ページ)。</p> <p>→ 付属のFM簡易アンテナの先は、テーブルなどで壁にとめる(8ページ)。</p> <p>アンテナの一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。</p> <p>→ スピーカーコードからできるだけ離す。</p> <p>付属のAMアンテナのアンテナ線がプラスチックスタンドからはずれている。</p> <p>→ お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</p> <p>電気器具の影響を受けている。</p> <p>→ 電気器具の電源を切ってみる。</p>
ステレオにならない	<p>モノラル受信の設定になっている。</p> <p>→ FM MODEをくり返し押して「MONO」を消灯させる。</p> <p>AM放送を受信している。</p> <p>→ 本機ではAM放送をステレオ受信しません。</p> <p>受信状態が悪い。</p> <p>→ 症状「雑音が入る/受信できない」を参照し、アンテナの状態を確認する。</p>

パソコン接続

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<p>パソコンが正しく接続されていない。</p> <p>→ 正しく接続し直す(25ページ)。</p> <p>ファンクションが「PC」になっていない。</p> <p>→ PCを押して(またはFUNCTIONをくり返し押して)「PC」を表示させる(26、29ページ)。</p> <p>オーディオデバイスが正しく設定されていない。</p> <p>→ パソコンのコントロールパネルでオーディオデバイスを調節する。</p>

別売り機器

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<p>本機が正しい状態になっていない。</p> <p>→ 共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。</p> <p>別売りの機器が正しく接続されていない。</p> <p>→ 以下の点を確認しながら正しく接続し直す（31ページ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続コードが正しい位置に接続されているか。 接続コードのコネクターがしっかり奥まで差し込まれているか。 <p>つないだ機器の電源が入っていない。</p> <p>→ 電源を入れる。</p> <p>つないだ機器での再生が始まっていない。</p> <p>→ つないだ機器の説明書を見て、再生を始める。</p> <p>ファンクションが「MD」になっていない。</p> <p>→ FUNCTIONをくり返し押して「MD」を表示させる（32ページ）</p>
レコードプレーヤーからの音が小さい	<p>レコードプレーヤーを直接つないでいる。</p> <p>→ つないでいるレコードプレーヤーに、イコライザーが内蔵されているか確認する。内蔵されていないときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー（別売り）をつなぐ。</p>

これらの処置をしても正常に動作しないときは リセット

- 1 電源コードを抜く。
- 2 電源コードを入れる。
- 3 I/⏻（電源）を押して電源を入れる。
- 4 本体のI/⏻（電源）とi-Bassを同時に約2秒間押す。

設定がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマー設定をやり直してください。

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

CD/MP3

メッセージ	原因と対応のしかた
CD No Disc	ディスクが入っていない。
CD NO STEP	すべてのプログラムが消された。
OVER	再生または一時停止中に▶▶を押し続け、ディスクの最後まで達した。 → ◀◀を押し続けるか、または ◀◀を押して再生位置を戻す。
Push STOP!	再生中にPLAY MODEを押した。 → 再生中は再生モードの変更はできない。■を押して再生を停止させてから、PLAY MODEを押す。
Reading	ディスクの情報を読み取っている。 → 表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が読み取れなくなります。
Step Full!	26曲（ステップ）以上プログラムしようとした。 → 26曲以上はプログラムできない。

チューナー（ラジオ）

メッセージ	原因と対応のしかた
Complete!	プリセット作業が、正常に終了した。

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
SET CLOCK!	時計が設定されていない状態でタイマーを選択しようとした。 → 時計を設定する。
SET TIMER!	タイマーが設定されていない状態でタイマーを選択しようとした。 → タイマーを設定する。
TIME NG!	タイマー設定で、終了時刻と開始時刻を同じに設定した。 → 終了時刻を設定し直す。

使用上のご注意

設置時のご注意

- オーディオ機器は、密閉した場所に置いて使用しないで、温度上昇を防ぐために風通しの良い所でお使いください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。

使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、キャビネットなどに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、大きな音を出したときなどにファンが回転します。ファンの通風孔付近を塞いで使用すると、機器の温度が上昇して故障の原因になります。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板があたかくなることがありますが故障ではありません。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れています。それらは、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型（JEITA*）のため、テレビのそばで使うことができますが、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

* 電子情報技術産業協会の略称です。

移動時のご注意

- 必ずCDを取り出してください。中に入れたまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- 移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了していることを必ず確認してください。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ディスクの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどのりがはみ出したり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：AWP-ZP5
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

主な仕様

本体 (CX-LZP5)

アンプ部

実用最大出力	20W + 20W (JEITA* 6Ω負荷)
入力端子	MD : 750mV、12kΩ
出力端子	PHONES端子 : ステレオミニジャック、8Ω以上
	USBハブポート : 最大消費電流100mA (1ポート)

CDプレーヤー部

形式	CDプレーヤー
信号方式	JEITA*標準
周波数特性	2Hz ~ 20kHz

チューナー部

受信周波数	FM : 76 ~ 108MHz AM : 531 ~ 1,602kHz
アンテナ端子	FM : 75Ω不平衡型 AM : 外部アンテナ端子

スピーカーシステム (SSX-LZP5)

型式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	ウーファー (低音用) 10cmコーン型 トゥイーター (高音用) 4cmコーン型 インピーダンス : 6Ω

その他

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	40W : 通常動作時 (JEITA*) 0.3W以下 : スタンバイ (節電モード) 時
最大外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含む)	アンプ/CDプレーヤー/チューナー部 : 108 × 224.8 × 327.1mm スピーカーシステム部 : 115 × 225 × 223mm
質量	アンプ/CDプレーヤー/チューナー部 : 4.4kg スピーカーシステム部 : 3.8kg (1台)

付属品

リモートコンマダー (1)
単3形乾電池 (2)
スピーカーコード (2)
FM用簡易アンテナ (1)
AMループアンテナ (1)
USB接続ケーブル (1)
取扱説明書 (1)
USBハブポートについてのご案内 (1)
安全のために (1)
アイワご相談窓口のご案内 (1)
テクニカルインフォメーションセンター
のご案内 (1)
保証書 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

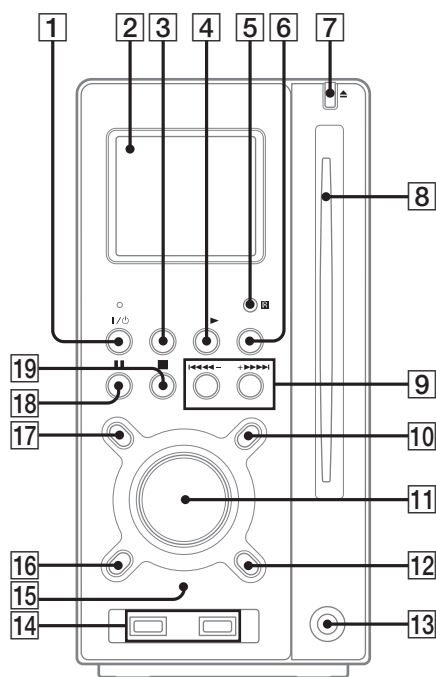
* JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。



- ・ 待機時消費電力0.3W以下
- ・ 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- ・ 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
- ・ システムの本体キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

各部のなまえ

本体



① I/⏻ (電源) スイッチ

② 表示窓

③ PCボタン (26ページ)

④ CD▶ (再生) ボタン

⑤ リモコン受光部 (9ページ)

⑥ TUNER/BANDボタン (15ページ)

⑦ ▲ (ディスク取り出し) ボタン

⑧ ディスクスロット (11ページ)

⑨ ◀▶ (早戻し/早送り) ボタン

◀◀▶▶ (頭出し) ボタン

チューニング
TUNING +/- ボタン (15ページ)

⑩ i-Bassボタン (19、39ページ)

⑪ ボリューム
VOLUMEつまみ (21、29ページ)

⑫ アルバム
ALBUM + ボタン (12ページ)

⑬ ホーンズ
PHONES端子

⑭ ユーエスビー
USB ハブポート (30ページ)

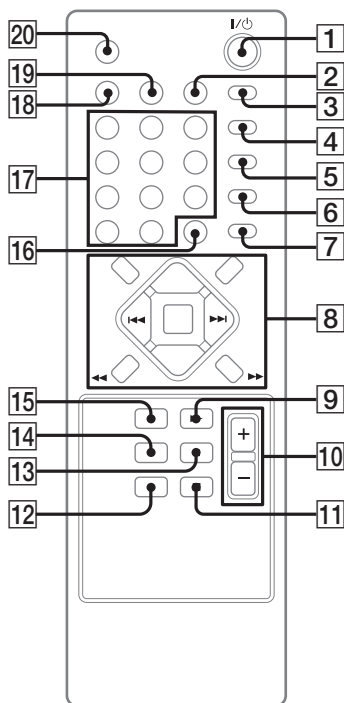
⑮ ユーエスビーステータス
USB STATUSランプ (30ページ)

⑯ アルバム
ALBUM - ボタン (12ページ)

⑰ ファンクション
FUNCTIONボタン (9、11、16、26、
32ページ)

⑱ || (一時停止) ボタン

⑲ ■ (停止) ボタン



- ① I/⏻ (電源) スイッチ
- ② クロック タイマーセット
CLOCK/TIMER SETボタン (10、21
ページ)
- ③ スリープ
SLEEPボタン (20ページ)
- ④ ビーシーミキシング
PC MIXINGボタン (20ページ)
- ⑤ チューナーメモリー
TUNER MEMORYボタン (15ページ)
- ⑥ リピート
REPEATボタン (13ページ)
- ⑦ エフエムモード
FM MODEボタン (18ページ)
- ⑧ プレイモード
PLAY MODEボタン (12ページ)
- ⑨ チューニングモード
TUNING MODEボタン (15ページ)
- ⑧ << / >> (早戻し/早送り) ボタン
<< / >> (頭出し) ボタン
イコライザー
EQボタン (19ページ)
アイバス
i-Bassボタン (19ページ)
エンター
ENTERボタン (10、15、21ページ)
チューニング
TUNING + / - ボタン (15ページ)
アルバム
ALBUM + / - ボタン (12ページ)
- ⑨ ▶ (再生) ボタン
- ⑩ ボリウム
VOLUME + / - ボタン (21、29ページ)

- 11 ■ (停止) ボタン
- 12 チューナーバンド TUNER BANDボタン (15ページ)
- 13 ■■ (一時停止) ボタン
- 14 シーディー CDボタン (9、11、16ページ)
- 15 ピーシー PCボタン (26ページ)
- 16 クリア CLEARボタン (14ページ)
- 17 数字入力ボタン (12、17ページ)
- 18 ディスプレイ DISPLAYボタン (23ページ)
- 19 クロック タイマーセレクト CLOCK/TIMER SELECTボタン (22
ページ)
- 20 ファンクション FUNCTIONボタン (9、11、16、26、
32ページ)

索引

あ行

音質の調節 19

さ行

サーチ 12

再生時間を調べる 23

再生タイマー 21

自動受信 15

シャッフル再生 11

手動受信 16

受信情報を見る 24

スリープタイマー 20

接続

アンテナ 6

外部アンテナ 33

スピーカー 6

別売りの機器 31

節電モード 23

た行

低音の調節 19

な行

残り時間を調べる 23

は行

プリセット受信 17

プログラム再生 13

ま行

マニュアル受信 17

メッセージ一覧 40

ら行

リセット 39

リピート再生 13

A-Z

AMアンテナ 7

FMアンテナ 8

PCミキシング 20

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

アイワホームページ ● <http://www.jp.aiwa.com/>

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。「サポート情報」や「よくあるご質問(FAQ)」に関しては、ホームページをご活用ください。

アイワお客様ご相談センター

● **ナビダイヤル**..... **0570-00-4680**

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)

● **携帯電話・PHSでのご利用は**..... **0466-31-4833**

(ナビダイヤルがご利用にならない場合はこちらをご利用ください。)

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

● **FAX**.....**0466-31-4250**

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in China

<http://www.aiwa.com/>